

パナマ内政・外交（2018年11月定期報告）

【ポイント】

○2019年総選挙に関し、PP党は党内投票を行い、与党パナメニスタ党との連立維持を決定した。

○バレーラ大統領は上海を訪問し、国際輸入博覧会でのパナマ・パビリオンの開会に立ち会うと共に、関連中国企業代表等と会合を持った。

○バレーラ大統領は、グアテマラで開催された第26回イベロアメリカサミットへ出席し、同サミットのマージンで、モラレス・グアテマラ大統領、ビスカラ・ペルー大統領及びモレノ・エクアドル大統領と首脳会談を行った。

○康韓国外務部長官がパナマを訪問し、バレーラ大統領及びサイン・マロ副大統領兼外務大臣と会談を行った。

【本文】

●内政

1 閣僚の交替

1日、バレーラ大統領は10月31日付での現政権内閣僚4ポスト等の交替につき発表したところ、概要以下のとおり。

(1) 大統領府大臣 旧（代行）サルバドール・サンチェス（米州機構大使に就任）

新 ホセ・ルイス・ゴンサレス

同次官 旧 ホセ・ルイス・ゴンサレス

新 フランシスコ・アルトラ（前大統領府法務局長）

(2) 社会開発大臣 旧 アルシビアデス・バスケス（中米議会議員に出馬※）

新 ミケーレ・ムチェット

同次官 旧 ミケーレ・ムチェット

新 コスメ・モレノ

(3) 治安大臣 旧 アレクシス・ベタンクール（国家保安隊麻薬対策特殊部隊に従事）

新 ジョナサン・デル・ロサリオ

同次官 旧 ジョナサン・デル・ロサリオ

新 オマール・ピンソン（前国家警察長官、本年6月に引退）

(4) 労働開発大臣 旧 ルイス・エルネスト・カルレス（2-3区議会議員に出馬※）

新（代行）スルフィー・サンタマリア（前労働開発次官）

※当館注：当国選挙法は、中央及び地方における公職への選挙出馬には、同選挙実施の6ヶ月前までに政府機関要職を辞任することを規定している。

2 2019年大統領選挙に向けた政党連合結成の動き

25日、民衆（PP）党は、2019年大統領選挙に関する党内投票を行い、賛成261票（59%）及び反対180票（41%）で、与党パナメニスタ党との政党連合を維持すると共に、ブランドン与党大統領候補を統一大統領候補として支持する旨決定した。来年選挙に向けての、政党連合の結成は今回が初めてとなる。

●外交

1 バレーラ大統領の中国訪問

11月5日から9日にかけて、バレーラ大統領は上海を訪問したところ、概要以下のとおり。

（1）国際輸入博覧会におけるパナマ・パビリオンの開会式

ア 「広い接続性（La Gran Conexión）」と題したパビリオンの開設に際し、バレーラ大統領は、中国・ラ米域内諸国間の貿易関係におけるパナマの果たす戦略的役割について強調すると共に、パナマはアジア地域とラ米地域、あるいは他地域間を繋ぐ国際貿易のゲートウェイである旨発言した。

イ 同パビリオンの開会式には、中国側からは中国政府及び上海市外交部代表者、パナマ側からはアロセメナ貿易産業大臣、カルレス農牧開発大臣、インカピエ外務次官及びエスコバル駐中国パナマ大使等が出席した。

（2）中国政府要人及び関連企業代表との会合

ア 李強・上海市書記：国交樹立から一年以上が経過した両国の外交関係の進捗について共有した。

イ 劉紹勇・中国東方航空代表：同社の欧州及び米国ルートを紹介した、パナマ・アジア地域間の接続性強化の可能性を模索した。パナマ政府によると、2018年現時点までのパナマへの中国旅行客数は1万3千人となり、同年末までに3万人超を目指している。

ウ Xuexuan Zheng中国米州建設公社（China Construction America）代表：2019年第一四半期に完成予定のアマドール地区コンベンションセンターの建設を担当する同社代表と建設工事の進捗を評価した。同社は、希望都市アライハン計画やサンイシドロ・バス停留所の建設も担当している。

エ Leon Wangアストラゼネカ社副社長：心臓血管疾患、高血圧及び糖尿病等の予防及び治療を促進することを目的とし、保健省と共同で行う循環代謝病疾

患（cardiometabolico）予防及びフォローアップ試験プロジェクトに関し意見交換を行った。

2 バレーラ大統領及びサイン・マロ副大統領兼外務大臣の第26回イベロアメリカサミットへの出席

（1）イベロアメリカ首脳会合におけるバレーラ大統領挨拶

ア バレーラ大統領は、グアテマラによる同サミットの成功裡の開催、また域内諸国の団結へのグリスパン・イベロアメリカ事務局長の貢献に祝意を表明すると共に、次回サミットを開催するアンドラ公国へのパナマからの協力を表明した。

イ バレーラ大統領は、パナマにおけるジェンダー平等、先住民等の社会包摂、バイリンガル教育、パナマ運河拡張に係る環境問題への取り組み、19日にパナマシティに開設される人道支援センター、来年1月にパナマで開催される世界青年の日等、パナマ政府による取り組みの進捗について共有した。

（2）第12回イベロアメリカ企業家会合

ア 14日、バレーラ大統領は、サイン・マロ副大統領兼外務大臣と共に、第12回イベロアメリカ企業家会合に参加した。同会合には、スペイン、メキシコ、ホンジュラス及びグアテマラ的首脳及びコロンビア副大統領に加え、域内諸国から200社を超える企業が参加した。

イ バレーラ大統領は、「国外からの投資なくして、持続的開発目標に到達することは不可能」と発言。また、域内諸国の発展のため、民間部門は、公的部門とより積極的に協働すべきである旨強調すると共に、汚職、麻薬密輸及び組織犯罪根絶に向けた、新たな政策を提案した。

（3）二国間首脳会談

14日から15日にかけて、バレーラ大統領はイベロアメリカサミットのマージンでモラレス・グアテマラ大統領、ビスカラ・ペルー大統領及びモレノ・エクアドル大統領と首脳会談を行い、観光分野等での協力姿勢を確認すると共に、域内問題に連帯して取り組む必要がある旨一致した。

3 駐ボツアナ・パナマ大使の信任状捧呈

17日、ドミンゲス・カスティージョ駐南ア（駐ナミビア大使を兼任）パナマ大使は、マシシ・ボツアナ大統領を表敬し信任状を捧呈した。ドミンゲス大使の任命は、アフリカ諸国との関係強化を目指すパナマ政府のファルコン・ポリシーの一環であり、南アフリカ地域間での外交、政治、貿易、経済及び科学技術分野での協力促進を目的としている。

4 米州地域人道支援センターの開設式典の開催

(1) 19日、パナマ政府は、バレーラ大統領及びサイン・マロ副大統領兼外務大臣の出席の下、米州地域人道支援センターの開設式典を開催した。

(2) 同大統領は、米州地域で発生する自然災害及びサービス提供国としてのパナマの歴史的使命の現状に対し、人道支援業務を円滑に行うことを目的とした物流プラットフォームを提供する旨述べた。

(3) 今後、同センターは、パナマ国家防災庁、国連人道支援物資備蓄庫、世界食糧計画及び国際赤十字・赤新月社連盟等により運営される。

5 シェスタコフ・ベラルーシ外務次官のパナマ訪問

21日、ナバロ外務次官は、パナマを訪問中のシェスタコフ・ベラルーシ外務次官と会談し、協力関係の強化及び拡大と、両国の相互利益に向けた交流を目的とする二国間アジェンダの見直しを行った。

6 韓国外交部長官のパナマ訪問

(1) 30日、バレーラ大統領は、サイン・マロ副大統領兼外務大臣の同席のもと、康外交部長官と会談を行った。両者は、パナマの物流プラットフォームが提供する接続性について話し合い、バレーラ大統領は、より多くの韓国企業によるパナマ国内プロジェクトへの参画及び域内拠点の設置を呼びかけた。

(2) その後、韓国訪問団は外務省を訪問し、外相会談に引き続いて拡大会合を行い、二国間アジェンダを深化させた。両外相は、物流、海事、科学技術等の分野における協力関係の促進の可能性について一致した。特に、韓国が強みとする科学技術外交の戦略に位置づけられるプロジェクトの決定等、パナマ海事庁と韓国側関連機関との間での覚書の具体化について合意した。

(3) 両外相は、2017年にサイン・マロ副大統領兼外相が韓国を訪問したことで盛り上がりを見せる両国の緊密な協力関係を今後も維持し、様々な分野で二国間アジェンダを強化及び拡大していく旨合意した。

(了)